

紋別高等養護学校 *PTA*だより

第3号

発行日:令和7年12月24日

発行:紋別高等養護学校 PTA

「2学期の活動を終えて」

紋別高等養護学校 PTA 会長 原 田 都 雷



年末厳寒の候 PTA 会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

学校の中で一番長い学習期間となる2学期が終わりました。2学期の PTA 活動を振り返ると、給食試食会後に情報交流した「PTA 茶話会」、子どもたちが講師となり保護者が作業体験する「PTA 保護者参加型授業参観」、卒業後の進路となる職場やグループホームを見学した「PTA 職場・施設見学会」、進路学習会後に講師と保護者で情報交換した「PTA 茶話会」、学校祭の中で開催した「PTA 交流企画紋高養えんにち」などがありました。

これらの活動を通し、保護者同士の交流、学校職員との交流を図ることができました。多くの PTA 会員のみなさまが積極的に活動へ参加し、子どもたちを応援して下さったことに深く感謝いたします。

これら学校行事の活動支援は、私たち保護者が PTA の一員として学校の運営に参画していこうという思いで教育活動に加わっているものです。

今後も、私たち PTA は会員相互で学び合いながら、生徒たちが生き生きと学べる学校づくりに関わっていきたいと思います。3学期も引き続き PTA 活動へのご理解とご参加をよろしくお願いいたします。



PTA 保護者参加型授業参観の様子



ふれあい広場の様子



紋高養えんにちの様子

PTA 合同大会オホーツク大会

特別支援学校の PTA 合同大会オホーツク大会が、去る 10 月 4 日（土）に北見支援学校を会場に開催されました。

会場での参加のほか、オンライン参加により、全道から 300 名の参加がありました。

今回の大会は、「共に学び生きる共生社会の形成とウェルビーイングの実現に向けて ～子供たちの社会的自立の実現に向けたつながりの構築～」というテーマが示されました。

このテーマのもと、子どもたちが社会的自立を果たし、安心して主体的に生活を営んでいくためには、乳幼児期から学齢期、社会参加に至るまでのライフステージを通じた切れ目のない支援の充実が必要であること、個人及び社会のウェルビーイングの向上には、学校、保護者、地域のつながり維持・拡大が不可欠であることを議論しました。

本校は、体験発表の運営を任せられ、嘉島副会長が司会を務め、原田会長が体験発表をしたみなさんに謝辞を述べました。



発表では、札幌視覚支援学校、高等聾学校、岩見沢高等養護学校、伊達高等養護学校の卒業生の方々が、地域に出て就労する中で苦労したこと、努力したことなどを発表しました。

参加者は、発表者のみなさんの活躍を感じながら聞いていました。

今年度は、北見支援学校が主幹校となりオホーツク大会を開催しました。次年度は、平取養護学校が主幹校となり室蘭大会が開催されます。



PTA の活動を報告します

ふれあい広場もんべつ 2025

9月21日(日)に紋別市総合福祉センターで開催された「ふれあい広場 2025」に有志の生徒と保護者、教職員で参加しました。当日はあいにくの天気となり急遽室内での実施となりましたが、たくさんの方に来場いただき盛会となりました。

本校は、学科の体験ブースや製品販売コーナーを設置しました。体験ブースでは生徒たちが講師となり、地域みなさんに作業体験をしていただきながら、日頃の学習の取り組みを伝えることができました。また物販では生徒たちが販売員となり、日頃の経験を生かしながら園芸科の野菜や木工科や家庭総合科、窯業科の製品を「いらっしゃいませ!」と元気な声掛けをしながら接客することができました。

生徒が地域と繋がる貴重な機会として、次年度以降も保護者様の協力をいただきながら参加していきたいと思います。



『紋高養えんにち』が開催されました

11月21日(金)22日(土)に行われた学校祭で、PTA 交流事業「紋高養えんにち」が開催されました。

この行事は、保護者同士、保護者と教職員、また生徒との関わりを増やしたいという思いで一昨年度始まった企画です。今年度は学校祭1日目に生徒を対象に2日目は保護者の方々や一般の来校者を対象に「輪投げ」と「缶倒し」を行いました。おかげさまで生徒をはじめ、多くの皆様に楽しんでいただけた行事となりました。



当日参加してくださった皆様、運営にご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。